

「（仮称）瓦木中学校校舎改築工事」

令和2年5月28日協議終了

行為の概要

申出者	住所 西宮市六湛寺町10番3号 氏名 西宮市長 石井登志郎
設計者	住所 氏名 未定
行為の場所	西宮市 薬師町4-15
敷地面積	22,077㎡
施設用途	学校
建物規模	鉄筋コンクリート造 4階建て 延床面積 約7,000㎡
備考	

※この資料に記載の内容は、令和2年5月28日時点ののものであり、その後変更となる可能性があります。

計画策定段階協議での意見概要と検討結果について
 (瓦木中学校校舎改築計画)

意見の概要及び協議事項	検討結果
<p>【全体構成・配置のバランスについて】</p> <p>(1) 中庭が将来のメインエントランスとなっ てほしい。シンボルツリーを設けるなど 生徒のコミュニケーションの場として記 憶に残る中庭とし、多少運動場を狭めて でも中庭の広場を残すよう、体育館の配 置計画を検討してほしい。</p> <p>【建物の意匠(形態・色彩・材質)等について】</p> <p>(2) 新しくすることを目的とせず、昭和も歴 史となってくるのならば、受け継ぐもの と変えるものを意識して設計してほし い。卒業生や地域の方にとっては大事な 景観資源であったと思うので、良いとこ ろは新設校舎に受け継ぐよう検討してほ しい。</p> <p>(3) 中庭に面する普通教室と特別支援の1階 は、1スパン又は半スパンセットバックさ せ、(ピロティになっているのが一番良い が)濡れ縁のような緩衝帯を設ける計画 を検討してほしい。検討する際は断面を 描くと良い。</p> <p>(4) 光庭や吹き抜けのあるツインコリドール 型も検討してほしい。</p> <p>(5) 色彩は、残る校舎と調和するようにY系、 YR系を検討してほしい。</p>	<p>(1) 中庭については、学校と協議しながら設計 段階で検討します。 体育館の改築は20年後となりますが、中 庭を残せるよう、体育館の配置につい ては留意します。</p> <p>(2) 教職員や同窓会長等の学校関係者からな る改築推進委員会において協議しなが ら、既存校舎と調和した外観を形成でき るよう検討します。</p> <p>(3) 既存建物に囲まれた限られたスペースの中 で、可能な緩衝帯を検討します。</p> <p>(4) 既存建物に囲まれた場所での部分改築の ため、スペースが非常に限られています ので、ツインコリドール等は難しいで すが、通風と採光に留意し設計を行います。</p> <p>(5) 既存校舎と調和するよう設計段階で色彩 を検討します。</p>

計画策定段階協議での意見概要と検討結果について
(瓦木中学校校舎改築計画)

<p>(6) 母校に対する愛着心を育むという意味でも、地域にあったデザインとするよう検討してほしい。</p> <p>(7) 避難所だと分かるように、また教室までの誘導灯など外構の照明計画を検討してほしい。設計段階で照明計画の資料も提出してほしい。</p> <p>【外構・植栽計画について】</p> <p>(8) 正門の位置は、メインの建物の近くであり生徒を受け入れるような構えであるべきである。また、対面する西門と繋がっているような場所にあってほしい。例えば、正門を通過して小広場を通過してから校舎に入るアプローチを建て替え計画でも意識してほしい。現況の位置は、建物の隙間を通過して校舎に入っていく感じがあるため、生徒たちを迎え入れるような空間計画を検討して下さい。今回の工事で正門をやり替えるのであれば、工事車両としている場所辺りに設けるのが良い。</p> <p>(9) 正門付近にまとまった植栽設けること。</p> <p>(10) 大きな既存樹は可能な限り残すよう検討してほしい。</p> <p>以上</p>	<p>(6) 改築推進委員会において協議しながら、設計段階で検討します。</p> <p>(7) 設計段階で検討します。 照明計画の資料については提出します。</p> <p>(8) 正門の位置については、学校と十分に協議しながら検討します。</p> <p>(9) 設計段階で検討します。</p> <p>(10) 可能な限り残せるように検討します。</p>
---	--

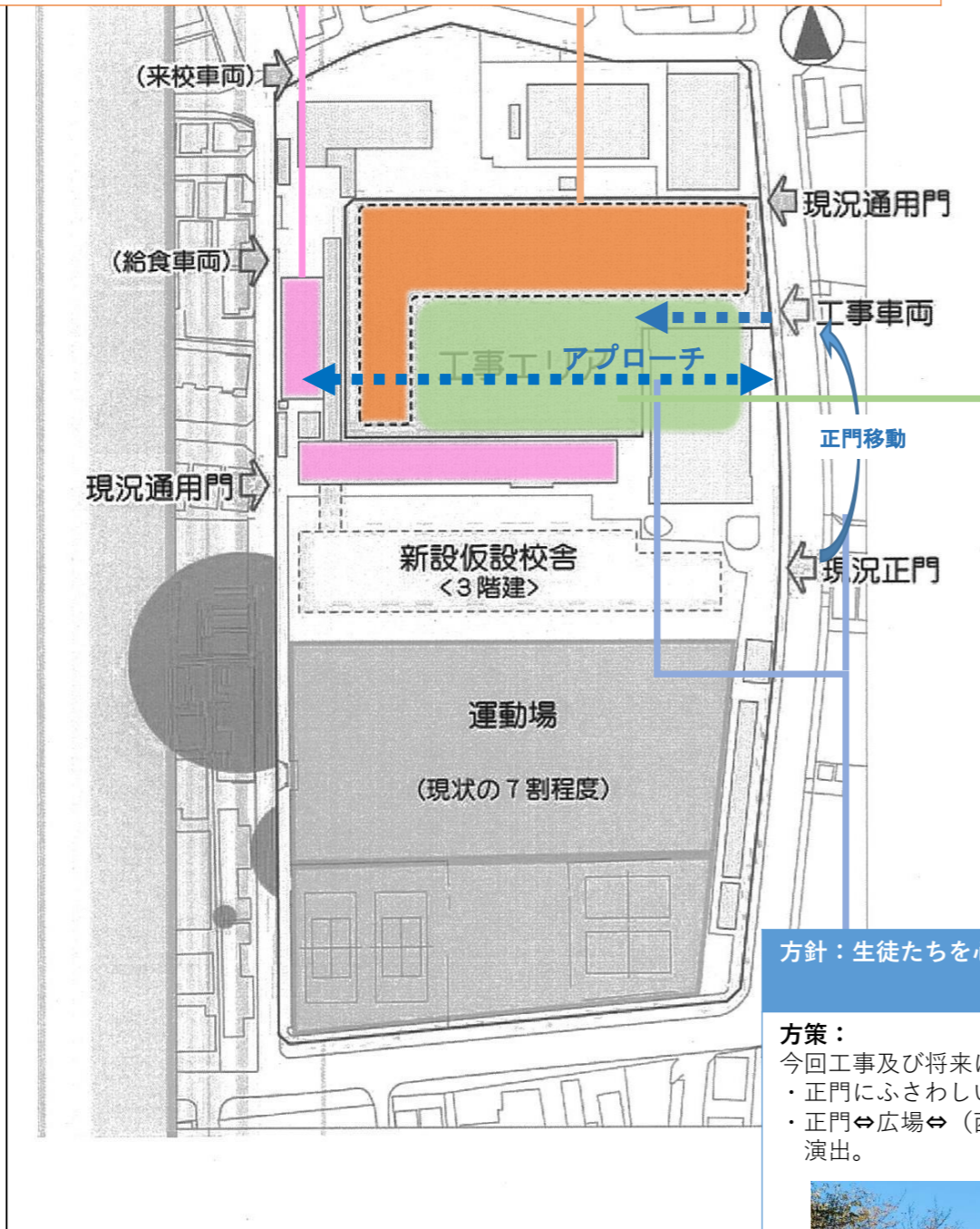
方針：卒業生や地域の景観資源であったと思われる既存校舎のデザイン等を受け継ぐことにより記憶の継承を図る

方策

- ・既存校舎より受け継ぐものとそうでないものを学校関係者（同窓生含）からなる改築推進委員会で協議・整理したうえ、設計を行う。
- ・色彩は、残る校舎との調和や地域の景観の継承にも配慮する。（現状の色彩と同様のY系若しくはYR系の採用をまず検討してみる）



既存校舎
開放廊下と縦に貫く手摺柱が印象的で軽やかさを演出している



方針：生徒や来客者を心地よく迎え入れるエントランス空間づくり
【校舎】

方策：

- ・既存校舎に囲まれた限られたスペースの中ではあるが、中庭に面する1階部分の外壁面をセットバックさせ、濡れ縁のような緩衝帯を設けるなど、快適な広場空間となるような演出を検討する。
- また、通風や採光にも十分配慮する。

方針：生徒や来客者を心地よく迎え入れるエントランス空間づくり
【中庭】

方策

- 今回工事及び将来にわたる全体建替計画の中で、以下の点に留意する。
- ・メインエントランス空間になりえる整備を検討する。（シンボルツリー、緑豊かな空間、生徒が集えるベンチ等の設置等）
- ・今後続く建替計画においても、本広場は生徒達の記憶の継承のシンボルとなるよう保全に努める。

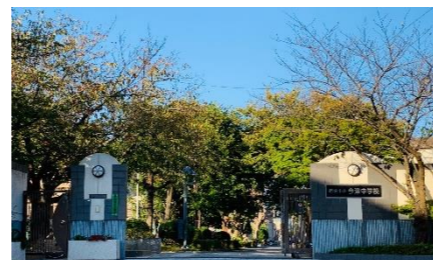


(参考例)
シンボルツリー、適度な植栽
ベンチや芝生等の集い場

方針：生徒たちを心地よく迎え入れるエントランス空間づくり
【正門・アプローチ】

方策：

- 今回工事及び将来にわたる全体建替計画の中で、以下の点に留意する。
- ・正門にふさわしい位置や設え、まとまった植栽等の検討する。
- ・正門⇄広場⇄（西門）への動線確保により効果的な迎え入れ空間を演出。



(参考例) 正門両脇の高木がゲートになって迎え入れ空間を演出

方針：その他

方策：

- ①避難所だと分かるように、また教室までの誘導灯など外構の照明計画を検討する。
- ②大きな既存樹は可能な限り残すよう配慮する。

生徒たちを心地よく迎え入れる
エントランス空間づくり

景観配慮方針及びその方策